

平成27年度 第2回
郡上市議会報告並びに意見交換会の結果報告書

- 白鳥会場 平成27年11月 4日(水) 19:30～
白鳥ふれあい創造館
- 八幡会場 平成27年11月 6日(金) 19:30～
郡上市総合文化センター
- 高鷲会場 平成27年11月10日(火) 19:30～
たかす町民センター

平成27年12月

郡上市議会

平成27年度 第2回議会報告並びに意見交換会主な意見

当日いただいた主なご意見につきましては、その内容に応じて各所管委員会で対応方針を協議してまいります。その一部を掲載させていただきました。当日の回答と異なる場合もありますが、正確を期するため委員会で協議した対応方針を掲載しております。

【白鳥会場】

	市民の意見・要望	議員の応答・議会の対応
1	○政務活動費について 今後、政務活動費は導入するのか。方向性はどうか。	公聴会の意見、パブリックコメント等を踏まえ政務活動費について条例化していく方向である。
2	○議会改革について 現時点で、議会改革を行なっていると言えるものは何かあるのか。	議会報告会、市執行部への政策立案もそうであるが、今もっとも取り組んでいるのは議会基本条例の制定である。
3	○議会改革について 今後、議会改革で行なおうと計画していることは何なのか。	まずは、議会基本条例の制定を主としている。
4	○議会改革について 若者が行政・議会等へ興味を高めるような手段を考えるべきである。	若い方も参加しやすい議会報告会となるよう努力する。
5	○議会改革について 議会だよりにおいて、議会改革（議会基本条例）のことをもっと載せられないのか。	すでに実施している内容を条例として明文化していく部分が多かったので、議会だよりには掲載がなかった。HPのパブコメ募集や諸団体との公聴会は実施してきた。今後はそうした過程もわかるような紙面作りに努力していく。
6	○議会基本条例について 第3条の2「基本方針」に市長等の事務の執行について評価するとあるが、評価を数字で表せるようなやり方にすべきである。	行政評価表を用い評価をしてきたが、数字で表せる評価については、検討していきたい。
7	○議会基本条例について 第2条「基本理念」にある地方分権時代を先導する、また、真の地方自治の実現とは、具体的にどういうことを言っているのか。	憲法、地方自治法にも議会のあり方が謳われているが、執行部と議会の関係を、本来の対等の立場として地方自治を進めるということである。

8	○地方創生について 「郡上市まち・ひと・しごと創生 総合戦略」を策定したが、市議会としては何かを考えているのか。	住民参画で策定された、執行部案に質問を投げかけ協議をすすめてきた。今年も執行部へは政策提言を行なっている。
9	○交流移住について 交流移住相談は、どこから、またはどこへの希望が多いのか。空き家はあるのか。	愛知県等東海地区からの相談が多く、市内では明宝、和良、石徹白を希望する人が多い。 空き家の実態把握は行政で進行中であるが、実際に借りることができる物件は限定される。 八幡では、産業振興公社と連携して空き家の活用対策に取り組み始めた。
10	○光ケーブルの整備について 白鳥管内は光ケーブルが整備されてきたが、市内ではどのような取り組みが進められているのか。	移住促進の面からも整備を積極的に進めるよう取り組んでいる。八幡町の愛水舎跡地にテレワークの拠点施設を整備し、すでに市外の事業者が活動を始めている。
11	○子育て日本一の推進について 市は、「日本一子育てしやすいまち」の実現をうたっているが、郡上市独自で行なっている具体的な施策は何か。	施策の一部であるが、「がんばれ子育て応援事業」では、第3子以降の子どもを対象に小学校入学前の6年間、毎年10万円の郡上市共通商品券を給付している。医療費も18歳までの無料化、保育料の引き下げを実現させている。
12	●家庭の悩み相談について 家庭内に子どもの悩み（性同一性障害、性的DVほか）をもっているが、相談をできない家庭（子ども）が多数いる。相談しやすい環境の受け皿を設けてほしい。	現時点ではどこまで対応できるとは言えないが、行政で対応できるよう話を進めていきたい。
13	●災害時の危機管理について 市内の小河川の現状を見ると災害が懸念される。市の危機管理体制はどうなのか。	議会としても体制も含めて課題として捉え研究をしていく。 情報を共有し連携していくことが大切であり、自助、共助、公助のそれぞれの役割を担っていかなければならない。
14	●プライバシー保護について 公の病院や相談窓口において個人のプライバシーが守られているか疑問である。	意見があったことを市に伝える。
15	○その他 勉強して、またこの会に参加したい。	若い方など多くの方が参加しやすい会の運営としていきたい。

●印は特に市に伝達すべき事項

【八幡会場】

	市民の意見・要望	議員の応答・議会の対応
1	○政務活動費について 今期から議員報酬がアップとなり、議員年金も廃止になり（掛け金が手元に残り）手取りは増えている。また社会的風潮も政務活動費には批判的である。この時になぜ活動費を条例化しようとするのか。	全国的にみれば活動費を設ける市は増えている。二元代表制の役割を充実させるためにも議員の資質を高める経費が必要と考える。
2	○政務活動費について 委員会出張手当以外に個人への手当があるのではないか。	研修参加費用として、旅費等が年額5万円認められていたが、政務活動費を設けた場合は廃止とする。
3	○政務活動費について 他市にあるので郡上市も設けると言うのは理由にならない。必要性があるのなら具体的に提示しなければ市民は納得しない。	今まで自費で行っていた研修も民間会社では経費に充当すると考える。若い人材が立候補しやすいようにするためにも活動経費として設けたい。
4	○政務活動費について 議会の機能はチェック機能だけでなくいろいろある。議員提案を増やすなど結果を出せば市民も納得するが現状では活動が見えていない。	導入直後から結果を出すのは容易ではないが、議会活動充実のための政務活動費であると考えている。
5	○政務活動費について 確固たる方針と使い道を明確にすれば市民も納得できる。	首長と対等に対峙する議会の資質向上を不断に進めなければならない。議会としていろいろな立場の意見を聴き、市長へ提言を行うために活動費を活用する。用途については、HP等で公開し理解されやすいものとしていく。
6	○政務活動費について 政務調査費と政務活動費は違うものか。	例えば陳情活動にも使用できることになり用途の幅が広がった。まったく別のものである。
7	○政務活動費について 男女共同参画の時代、女性のスキルアップはより大変である。意義の深い導入をしてほしい。	女性だから特別との恩恵はないが、これからの時代は男女ともに、より一層勉強や活動を深めていかなければならない。
8	○政務活動費について 政務活動費は使用目的、範囲などしっかり押さえていただきたい。	市長はスタッフが多いが、議員は一人。資質向上のために必要。用途基準を明確にして、規定を設け内訳や金額について公開していく。
9	○議会改革について 改革とは金を使わなくすることではないか。	減らすことだけが改革ではないと考える。活動をより充実させ、議会の責務をしっかり果たすことが大事と考える。

10	○議会改革について 女性や若い人が少ないが、真に改革を考えているならもっと大勢に参加してもらい、広く意見を聴く姿勢から改革すべきである。	手立てを尽くしているが、参加者が増えない。もっと工夫する必要性を感じている。
11	○議会基本条例について 議会基本条例について、意見を求められてもそのことに従事していないので分からない。分かってももらえるよう工夫を凝らすといい。	議会基本条例は議会としての意気込みを表すものである。パブコメ等でいろいろなご意見をいただきたい。
12	○議会基本条例について 議会は、税金で賄われている。議会基本条例も市民の利益になるのかどうかである。メリットを市民に理解してもらう必要がある。作る意味を明らかにし、きちんと説明してもらわないと伝わらない。	議会基本条例は、議会と議員の基本的な姿勢を示すもので、執行部とのあり方、市民との関係を示すこととしており、市民にデメリットになるとは思わない。条例の内容を理解していただけるよう説明に努めたい。
13	○議員定数について 議員定数について議論されているか。市民が求められているのはコストカットである。	大選挙区に変わり、定数は18人になり、常任委員会は6人ずつである。広大な地域をフォローするためには、適正な人数であると考えている。
14	○その他 昔と比べると住民との関係が疎遠である。	合併当初90人議員であったが、現在は18人であり議員活動のあり方も課題として考えている。
15	○その他 議員は責任を取るくらいの意気込みで自信を持って反対・賛成してほしい。	市民の付託に答えられるよう議会基本条例に添い精いっぱい活動をしていきたい。
16	○その他 テレビ放送するようになってから一般質問する議員が増えたのはよいことである。安保法制の請願が否決されたが本当に真剣に考えてくれたのか。	それぞれの議員がそれぞれの立場で真剣に考え審議している。政府や国に対しても意見書等を提出し市民の声を伝える努力をしている。
17	●要望等 小野の交差点の信号でトンネルから明宝に左折する矢印の信号があるといい。	実情を把握し、改善のための取り組みを市、公安委員会に求めたい。
18	●要望等 市街地の舗装がひび割れ小石だらけになっている。県道とのことであるが県に言って欲しい。道路はつぎはぎになり、観光客が来るのに格好悪い。	県にも要望を出しており計画的に進められている。スピード感を持って取り組まれるよう市、県に要望していく。

19	<p>●要望等</p> <p>長良川鉄道のおどり臨時列車を再開してほしい。八幡駅は街の玄関なので観光案内所の設置や街中への輸送など検討してほしい。</p>	<p>検討するよう市に伝える。</p>
20	<p>●要望等</p> <p>新栄町あたりの路上駐車が目立つ。歩道を作って駐車できない仕組みづくりが必要。</p>	<p>検討するよう市に伝える</p>

●印は特に市に伝達すべき事項

【高鷲会場】

	市民の意見・要望	議員の応答・議会の対応
1	○政務活動費について 東京などへの出張の費用は出ていなかったのか。月1万円ぐらいで足りるのか。	公務の時は出るが、政務では出ない。会社ではどこかへ出張すれば費用が見てもらえるので、そういった費用を出してもらいたいという考えである。
2	○政務活動費について 額はどれだけが適正なのか分からない。有効活用されることが大事。	全国の調査結果、県下の状況などを参考に金額を算出していききたい。専門の知見を高めるための研修や要望活動等は必要と考える。
3	○議会の強化について 議会の力を強めるべきである。そのためにはシンクタンクを持って基本施策を独自に作って行けると良い。大学の先生などに共同で依頼できるようにすると、いい提案ができるようになると思う。郡上市内にも立派な方はいるので、活用していくといい。	市と提携を結んでいる大学の先生に、力を貸してもらえるようになると良いと考える。回数は少ないが、大学の先生の話の聞いたり、講演会に出向いたりしている。議会基本条例の第12条に専門的知見の活用を上げている
4	○議会改革について 一般質問は通告制であるが、もっと真剣勝負で、市長と対決してほしい。仕組みられた質問に見える	詳しい答弁を引き出すために通告は必要である。委員会などでは通告なしで質問している。
5	○議会改革について 会派はできるのか。必要か。	会派は作ることができるようになっている。現在は任意の会があり、会派のような機能を果たそうとしている。
6	○議会改革について 議会改革とはどんなものなのか。	議会は、執行部の予算など提案された案件を審議する場と考えられているが、市民の意見を政策提言にできる議会を目指している。12月に基本条例を制定していききたい。
7	○議会改革について ケーブルテレビなどで議員の意見を発表する番組をつくってはどうか。	議会活動として、ケーブルテレビの有効活用等を検討し、市民に活動内容をお伝えできるようにしていきたい。
8	○議会改革について 議員の報酬は、議員の活動が向上し、専門でやってもらえるなら増やしてもいい。	期待に応えられる努力していきたい。
9	○議会改革について 事務局の強化について、会議録を作ることは、他に雇ってやってもらい、議会事務局は本来やらなければならない、議会の政策的サポートに専念できる体制にする必要があると思う。	政策提案のサポートは議会事務局がやってくれているが、4人しかいないのであまり負担を掛けられない。事務局の強化は課題である。

10	○議会基本条例について 条例はどれくらいで作れるものなのか。	議会基本条例は4年かかって検討しているが、この12月に上程できる見込みである。理解しやすい条例作成に心掛けた。
11	○議会基本条例について 4条に市民の意向を的確に把握しとあるので、議会報告会は把握する機会でもある。市の事業を報告するのが議会報告会ではなく、事業や施策に対し議会がどのような対応し、意見や提言を行ったかの報告が議会の説明責任と思う。聞きに来ない市民にも責任がある。	議会活動の見える化に取り組み信頼される議会づくりを進めたい。 議会報告会は、市民が気軽に足が運べるような会を検討していきたい。
12	○議会基本条例について 昔の議員は報酬をあてにしなくても食っていける方になっていたが、最近はそうではない傾向にある。議会基本条例では、一つの基準が示されるのかと思った。	議会としての議員報酬の考え方は、議会基本条例の中で明確にしている。報酬金額等については、市の提案に基づき報酬審議会で審議されるものである。
13	●高校の統合について 岐阜県では高校の統廃合が進められている。北高の存続については、議会ががんばって岐阜県と相談していくように取り組んでほしい。	教育委員会を中心に今後の方向性を検討し県に提言していく計画である。
14	●長良川鉄道について 長良川鉄道は廃止し、その金を他の事業に回すべき。議会も市長と対立して積極的に方針を提起すべきだ。	長良川鉄道の運営については、今後の大きな課題と認識している。
15	●その他 子どもが生まれて市から商品券を貰ったが、使える場所がないなど若いお母さんの声がある。市民と議会は隔たりがあるので、こういったことを見に来てもらうとか、各地区に市とのパイプ役を作るといい。	商品券は商工業の発展を推進する役割もある。 市民の意見をお聞きする場所として今回の会も開催している。議会としては、今後議会サポーターやモニター制度などの制度を研究し多くの意見が聞けるよう取り組んでいきたい。
16	●その他 若者が流出するが、高校生の時まではいるのだから、宣伝が下手なのではないか。	郡上の良さを全国に発信していく必要はあると思うが、それには働くところと住むところをセットで考えていかなければならないと考えている。
17	●その他 出産して休まれると、会社として成り立つか。	育児支援の課題でもある。女性が働きながら安心して妊娠・出産・子育てできる環境の整備、支援できる体制づくりへの取り組みをさらに検討していきたい。

●印は特に市に伝達すべき事項

平成27年度 第2回議会報告会アンケート集計結果

・参加者

	白鳥会場	八幡会場	高鷲会場	計
男性	7	18	8	33
女性	4	2	3	9
計	11	20	11	42

・アンケート回収

	白鳥会場		八幡会場		高鷲会場		計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
20代	1	10.0%	0	0.0%	1	9.1%	2	5.4%
30代	1	10.0%	0	0.0%		0.0%	1	2.7%
40代		0.0%	3	18.8%	1	9.1%	4	10.8%
50代	4	40.0%	5	31.3%	4	36.4%	13	35.1%
60代	4	40.0%	3	18.8%	4	36.4%	11	29.7%
70以上		0.0%	5	31.3%	1	9.1%	6	16.2%
計	10	100.0%	16	100.0%	11	100.0%	37	100.0%

・この会をどこで知りましたか

	白鳥会場		八幡会場		高鷲会場		計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
チラシ	6	54.5%	6	35.3%	1	8.3%	13	32.5%
ポスター	1	9.1%	1	5.9%		0.0%	2	5.0%
議会だより	2	18.2%	2	11.8%	3	25.0%	7	17.5%
誘われて		0.0%	4	23.5%	3	25.0%	7	17.5%
CATV		0.0%	0	0.0%	1	8.3%	1	2.5%
その他	2	18.2%	4	23.5%	4	33.3%	10	25.0%
計	11	100.0%	17	100.0%	12	100.0%	40	100.0%

※複数回答あり

・この会の印象はいかがでしたか。

	白鳥会場		八幡会場		高鷲会場		計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
良かった	5	50.0%	1	7.1%	2	18.2%	8	22.9%
まあまあ良かった	2	20.0%	11	78.6%	6	54.5%	19	54.3%
あまり良くなかった	1	10.0%	1	7.1%	2	18.2%	4	11.4%
良くなかった		0.0%	0	0.0%	1	9.1%	1	2.9%
無回答	2	20.0%	1	7.1%		0.0%	3	8.6%
計	10	100.0%	14	100.0%	11	100.0%	35	100.0%

・議会だよりの一般質問を見ますか

	白鳥会場		八幡会場		高鷲会場		計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
毎回見る	7	70.0%	9	56.3%	6	54.5%	22	59.5%
たまに見る	3	30.0%	5	31.3%	3	27.3%	11	29.7%
見ない		0.0%	2	12.5%	2	18.2%	4	10.8%
無回答		0.0%	0	0.0%		0.0%	0	0.0%
計	10	100.0%	16	100.0%	11	100.0%	37	100.0%

・ケーブルテレビの一般質問を見ますか

	白鳥会場		八幡会場		高鷲会場		計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
毎回見る		0.0%	1	6.3%	2	18.2%	3	8.1%
たまに見る	6	60.0%	9	56.3%	6	54.5%	21	56.8%
見ない	2	20.0%	6	37.5%	2	18.2%	10	27.0%
無回答	2	20.0%	0	0.0%	1	9.1%	3	8.1%
計	10	100.0%	16	100.0%	11	100.0%	37	100.0%

アンケートご意見

(白鳥会場) 全部

番号	意見	年代・性別
1	・参加者が少ないのが気になる。	60歳代男性
2	・勉強のつもりで参加した。こうした機会はまさに開かれた議会の象徴である。若者にもわかりやすかった。今後も同様の機会があれば参加したい。	20歳代男性
3	・参加者が少ないのが残念、PRは十分か。議会活動報告に関心が無い。住民の意識の問題か。	60歳代男性
4	・これからも年2回以上やってほしい。	50歳代女性
5	・寒い時期でなければよい。	60歳代男性
6	・参加者がもう少し多い方がいい。 ・パイプ役として市民の声を行政に提言するための広聴の場としてはいいと思う。 ・テーマの議会改革の方針を中心に説明され、それについて意見を求めてもよいと思う。 ・参加者が少ない場合グループ分けは必要ない。	50歳代男性
7	・もっと人が集まるとよい。	30歳代男性
8	・不勉強で皆さんのお話が参考になりました。	50歳代女性

アンケートご意見

(高鷲会場) 全部

番号	意見	年代・性別
1	・夜の会であり、全体会や分科会の予定時間は守るべきである。座長や結果報告者のまとめる能力が問われる。人選に一考を願う。	60歳代男性
2	・年代によって時期や時間を変更してはどうか。	40代女性
3	・参加者を集う方法の検討が必要？	50代男性
4	・基本条例は、当たり前のことが書かれているだけに思えます。今さらこのような事を確認しなければならない郡上市議会なのかと思いますが・・・	50代女性

アンケートご意見

(八幡会場) 全部

番号	意 見	年代・性別
1	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人や女性の参加が少ないのが気になった。 ・今回代表的な立場で参加しているが、また来るかという考える。 ・活動はいいことと思うが、目的や課題を提案した上で分科会も分けた方がよかったと思う。 	50歳代女性
2	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの項目に終始したので、もう少し多岐にわたり話がしたかった。 ・少し時間不足であり、協議内容による方法を理解するまで時間がかかった。 	70歳代男性
3	<ul style="list-style-type: none"> ・食事をとる時間と重なりそうなのでもう少し時間を繰り上げてほしい。 ・自由参加はよいが、年代別・性別に募ってもよいと思う。 	40歳代男性
4	<ul style="list-style-type: none"> ・議会は日常から雲の上の立場とっており、自分なりに勉強不足と反省した。 ・今後より一層市民との関わりを持つようにしてほしい。 	70歳代男性
5	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が少なかったがあまり数にこだわる必要はないと思う。 ・参加者が少ないのでこのような会がなくなることはないよう頑張ってください。 	50歳代男性
6	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が少ないので考えて欲しい。 	50歳代男性
7	<ul style="list-style-type: none"> ・議会の枠の中だけの話題が中心と感じた。 ・もっと広く市民が市政に関心を持って参加できるよう報告会のあり方から考えなおして欲しい。 	60歳代男性
8	<ul style="list-style-type: none"> ・有意義な意見交換ができ勉強になった。 	70歳代男性
9	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数は少なかったが活発な議論がなされよかった。 ・このような会がなされていることをぜひ市民に知らせて欲しい。 (ケーブルテレビでの放送を期待している) 	50歳代男性
10	<ul style="list-style-type: none"> ・参加人数が少ないのが残念!! (若い人・女性の参加が増加するとよい) ・PR不足の感がいなめない。 ・時期、時間は適当である。 	70歳代男性
11	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加が十分でないことが一番の問題ではないか。 ・議会（政治）に対する期待が高まらないのはなぜか、それは政治としての力が弱いからではないか。 ・執行部と対峙できる議会が必要だと思う。 	50歳代男性
12	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が出席できるような会にしてほしい。 	60歳代男性